

「令和6年度新規課題公募における行政要請研究テーマ(行政ニーズ)について」プログラム

- ・1テーマあたり3分の説明となります。
- ・グループ内の説明がすべて終了したら10分程度の質疑応答となります。
- ・当日の進行によって多少前後する場合があります。

領域	グループ	開始	終了	テーマ番号	行政要請研究テーマ名	別添資料1頁
		13:00	13:10		概要説明	
1. 統合	A	13:10	13:31	1-1	地域循環共生圏及びSDGs実現に必要なSDGs目標間のシナジー最大化に関する研究	p. 14
				1-2	生態系サービス的一种であるネイチャーテクノロジーとそれを実現させるバイオミクリーに関する科学技術社会論的研究	p. 15
				1-4	地方公共団体・企業における自然資本経営を促進させるための実証的研究	p. 17
				1-3	閉鎖性海域での流入負荷の管理の効率化を目指したC・N・Pの動態と沿岸生態系への影響の把握	p. 16
				1-5	再生可能エネルギー導入促進等に向けた環境影響評価手法の研究・開発	p. 18
				1-6	自然体験が健康や健全なこどもの発育にもたらす便益の評価に関する研究	p. 19
				1-7	生物多様性と人の健康に関する都市部等における生態系サービスの定量的評価の提案	p. 19
		13:31	13:43	A 質疑応答		
2. 気候変動	B	13:43	14:01	2-1	途上国における環境インフラ導入に向けた制度構築等に関する研究	p. 20
				2-2	環境課題の解決や社会システム変革に貢献するサステナブルファイナンスの在り方に関する研究	p. 21
				2-4	暑さ指数の精緻化に関する研究及び熱中症対策に関する定量的評価に関する研究	p. 23
				2-5	太平洋SIDS環礁国における気候変動に強靱な社会実現のためのNbS適応策研究	p. 24
				2-3	衛星観測データによる森林炭素蓄積量の高解像度分布と生物多様性の関係の定量的評価	p. 22
				2-6	衛星観測データによる大規模排出源からの温室効果ガス排出量推定と定量的精度評価	p. 25
		14:01	14:13	B 質疑応答		
3. 資源循環	C	14:13	14:31	3-1	廃棄物処理施設由来の熱輸送技術の研究開発	p. 25
				3-2	持続可能で安定的・効率的な一般廃棄物処理施設等の研究開発	p. 26
				3-3	高分子吸水性ポリマー(SAP)の吸水機能再生	p. 26
				3-4	資源循環におけるマスバランス方式を用いたプラスチックの有効活用促進に関する研究	p. 27
				3-5	リチウム蓄電池の更なる普及を見据えた安全かつ収益性を確保したリサイクル体制の探求	p. 28
				3-6	廃棄物の排出から処理の段階におけるPFASの管理手法の開発及び社会実装に向けた検討	p. 28
	14:31	14:43	C 質疑応答			
休憩						

領域	グループ	開始	終了	テーマ番号	行政要請研究テーマ名	別添資料1頁
4. 自然共生	D	14:48	15:06	4-2	希少野生動物と自動車等との衝突防止技術及び保全対策技術の開発のための研究	p. 30
				4-3	絶滅のおそれのある陸産貝類保全のための外来種防除技術の開発	p. 30
				4-4	国内の希少な鳥類及び哺乳類における感染症リスクに関する研究	p. 31
				4-1	小笠原諸島の効果的な保安全管理のための大陸地殻の形成過程に関する研究	p. 29
				4-5	世界自然遺産地域における持続可能な観光管理手法の開発	p. 32
				4-10	島嶼における外来ネズミ類の根絶手法の開発及び殺鼠剤の非標的種への影響の解明	p. 36
	15:06	15:18	D 質疑応答			
	E	15:18	15:33	4-6	三次元情報処理技術等を活用した効率的な登山道管理支援技術の開発	p. 33
				4-7	生物多様性保全と気候変動対策のトレードオフの評価・回避手法の開発	p. 33
				4-8	モンゴル国ゴビ地域における森林資源の保全と持続可能な利用が砂漠化対処及び生物多様性保全、気候変動適応に与える影響に関する研究	p. 34
				4-9	分布拡大先端地域及び未侵入地域等における早期外来種対策推進のための被害予測ツール並びに効果的な防除手法の開発	p. 35
				4-11	健全な生態系の確保に向けた普通種等の生物多様性及び生息・生育地の見える化手法の開発	p. 36
	15:33	15:43	E 質疑応答			
	休憩					
5. 安全確保	F	15:53	16:08	5-2	国内におけるPM2.5曝露と神経系疾患等との関連性に関する研究	p. 38
				5-3	作用機序に着目したPFASの包括的な健康影響評価	p. 38
				5-10	大気-海洋-陸域間等の媒体横断的循環過程を含む大気中マイクロプラスチックの挙動等の実態解明に関する研究	p. 43
				5-11	植物に対する光化学オキシダント(オゾン)の定量的リスク評価等に関する研究	p. 44
				5-12	PFAS全体の存在状況の把握に向けた分析手法等の開発	p. 45
	16:08	16:18	F 質疑応答			
	G	16:18	16:30	5-1	持続可能な航空燃料の導入を見据えた航空機排出ガスの大気環境への影響評価	p. 37
				5-7	車種や音源の分離が可能な高精度の道路交通騒音モニタリングシステムと予測モデルの開発	p. 41
				5-4	内分泌かく乱作用に係る影響指向型解析手法の確立	p. 39
				5-5	作用、構造等が類似する複数物質の健康リスク評価に関する実践的研究	p. 40
	16:30	16:38	G 質疑応答			
	H	16:38	16:50	5-6	大気中の光化学オキシダント、微小粒子状物質、炭化水素の相互作用の解明と影響評価	p. 41
				5-8	デジタル社会を見据えた新たな大気・排ガス中の大気汚染物質の測定方法の確立	p. 42
				5-9	我が国における騒音と人の健康影響に係る疫学的解析	p. 43
				5-13	水域の生活環境動植物への農薬慢性影響評価に係る底質でのばく露評価手法の開発	p. 46
	16:50	16:58	H 質疑応答			